

# 平島公方 ゆかりの地

徳島県  
阿南市

阿南市那賀川町は、紀伊水道に面した徳島県東南部に位置し、一級河川那賀川の河口部に開けた豊かな自然と人情、そして歴史に彩られた町で、平成18年には、羽ノ浦町とともに阿南市に編入統合しました。

平島地域は、中世には「平島郷」といわれ、足利將軍家と関係の深い天龍寺（京都）の莊園で、海上交通の利便性や温暖な気候による快適な地

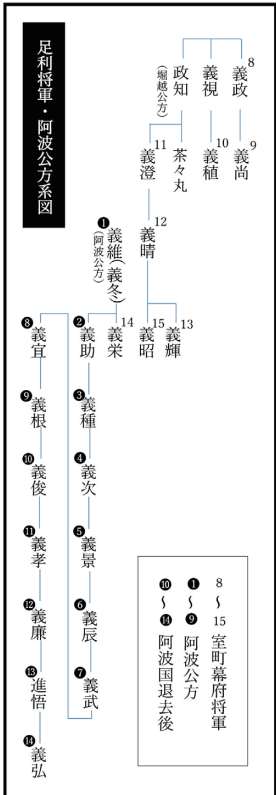
域のため、初代阿波公方足利義維（義冬）は、天文3年（1534）にこの地に移り住みました。義冬は阿波公方と名乗りましたが、その後代々の当主は平島公方と呼ばれました。

室町幕府の第14代將軍・足利義榮は、この地より上洛。文化2年（1805）に第9代公方・義根が阿波国を退去するまでの約270年間の長きにわたって居を構えました。特に好学の第8代公方・義宜は、京都から儒学者・島津華山を招き、漢詩集「棲龍閣詩集」を編むなど文化・学術面

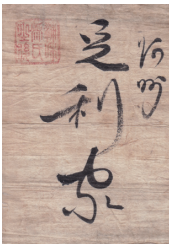
でも大きな足跡を残しました。公方が住まわれた公方館跡地には、現在、阿波公方・民俗資料館が建ち、足利氏ゆかりの品々を展示しています。また、西光寺には第14代將軍をはじめ、代々の阿波公方及び親族の墓所があり、当時の面影を偲ばせています。

那賀川町商工会では、その足跡を追善・顕彰するため、公方ブランドを統一し、イメージアップに努めております。会員：阿南市、那賀川商工会、

西光寺



公方くん



マムシ除け札



阿波公方民俗資料館



西光寺